

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	80%	自校A B層の割合	75%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	73.6%	自校A B層の割合	68.4%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究（国語）だけでなく「読みの三様態」の授業を行う単元では、授業観察やアドバイスをし合う。 単元ごとに探究的な活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストを年6回実施する。 年間通して、マスターバンビ（朝学習）でベーシックドリルに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習カードを用いて毎日学年×10+10分間は机に向かうように習慣づける。 学期に1回自主学習週間を設定し、児童のノートコピーを掲示して全校に紹介する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 交流活動を少人数にし、自信をもって参加できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不合格者へのサポートを放課後補習事業者と連携して実施する。 ミライシードで苦手な学習の復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習カードを用いて家庭と連携し、学習の習慣を身に付ける。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」肯定的な回答 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト全学年平均正答率 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間1時間以上」の回答割合 70%以上